

愛知県高等学校バレーボール選手権大会



愛知江南学園誠信高等学校

インタビュー

女子は誠信高校が優勝!

大会を振り返った感想

サーブプレシーブが思うように返らない場面がありましたが、自分たちの力でなんとか勝ち切ることができてよかったです。

チームのアピールポイント

大きい選手がそろっているのとそこでの得点です。

上位大会がない本大会の位置付け

上位大会がありませんが、この大会で一つタイトルを取れたら子供たちの成長につながると思っていますし、春高予選に向けて様々なパターンを試したいと思って臨みました。

中村与直監督

主将として気をつけていること

どんな状況でも笑顔でチーム全体の雰囲気を上げることです。誠信高校は我武者羅にお祭りバレーを理念にやっており、その伝統を大会では常に意識してやっています。

大会中で一番印象に残っていること

今大会では思うようなゲームができずフルセットになり苦しい場面がいくつかありましたが、全員の勝ちたい気持ちで雰囲気を崩さずに最後まで勝ち切れたのが印象に残っています。そして、自分たちの中でも応援はすごい力になりました。誠信の応援団は愛知県No.1です。

齋藤朱里主将



豊橋商業高等学校

インタビュー

第3位と快進撃の豊橋商業高校

大会を振り返った感想

昨年度の新人戦から今大会まで3大会連続県ベスト4をキープでき、部員の頑張りに感動しています。部員および関係者の方々に心から感謝します。

チームのアピールポイント

私たちのチームは、1-5のフォーメーションを基本とした守備重視のバレーボールを展開しています。平均身長は低めですが、機動力と粘り強さが持ち味です。「拾ってつなぐ」それが私たちのバレーボールの原点であり、最大の楽しさです。一人ひとりが役割を果たし、仲間とともにボールをつなぐことで、チームとしての一体感と達成感を味わえる。そんなプレーを目指して、日々練習に励んでいます。

上位大会がない本大会の位置付け

豊商バレー部にとって、毎年この大会は3年生にとっての引退試合であり、最も重要な舞台です。この大会を最後にユニフォームを脱ぐ3年生たちは、プレーだけでなく敗者ライオンズマンとしても試合に関わり、部活動の集大成としての時間を大切にしています。一人ひとりが役割を果たし、仲間とともに過ごす瞬間を、大切な思い出として残せる大会となっています。

菅沼千賀子監督

主将として気をつけていること

常に周りに気を配り、一人ひとりの表情を気にしながら、コミュニケーションをとったり、プレー中に声をかけ続けたり、チーム全体の雰囲気がよくなるよう意識しています。

大会中で一番印象に残っていること

慌てず焦らず落ち着いて、ミスしてもみんなで前向きな言葉を掛け合い、チームの長所でもある明るい雰囲気でプレーし、接戦を勝ち抜くことができたことです。

羽田千紘主将